

庄内地域における 「障がい者の就労を通じた社会参画」に向けた取り組みについて

令和6年11月5日
庄内総合支庁

1 これまでの取り組み

- ～R3
 - 総合支庁売店内「こしゃたな屋」にて福祉事業所製品等を展示販売
 - 総合支庁ロビーにて福祉事業所による「ロビーバザー」を開催
- R4
 - 「こしゃたなマルシェ」 & 「ノウフクランチ」の開催
- R5
 - 「こしゃたなマルシェ」 & 「ノウフクランチ」を民間事業者と連携し管内各所で本格実施

こしゃたなマルシェ



福祉事業所が製作した製品等の販売会を開催

ノウフクランチ



農福連携の農作物を使用したランチの提供

- 野菜の水耕栽培・販売を展開する「すこやかワクワーク」（酒田市）が設立（農福連携の新たな取り組み）

- 同様の水耕栽培を行う「みんなのサラダ」（鶴岡市）が設立（R6.4月）
- 「こしゃたなマルシェ」 & 「ノウフクランチ」に積極的に参加

野菜の水耕栽培



農福連携により高工賃を目指す事業所の誕生

2 今年度の取り組み

(1) 「こしゃたなマルシェ」及び「ノウフクランチ」の拡充

- ① 新たな会場の開拓による販売機会の拡大
 - ・ 集客力のあるイオンモール三川で初開催
 - ・ 昨年度好評であったSAKATANTO等3か所で継続開催
 - ・ より多くの方に福祉事業所製品を知っていただく機会に
 - ・ 商業施設、道の駅等での継続的な販売・納品を確保
- ② 高校生との連携
 - ・ 県立酒田光陵高校ビジネス流通科の生徒が、事業所と一緒に製品を販売
 - ・ 若者視点を取り入れることでイベントが活性化
 - ・ 高校生の福祉への理解促進



事業所間・来場者との交流により、製品販売への意欲が増大する様子が見られた

(2) 農福連携の新たな取り組みの波及・拡大

作業しやすい環境で安定した生産を実現した事例について学ぶ研修会を開催

《特長》

- 障がい者が作業しやすい環境
年間を通して快適な室温・湿度、明るいフロアで作業
- 障がいの特性に応じながら安定した生産を実現
障がいの特性やその日の体調に合わせた作業内容・時間を設定しながらも、年間を通して安定した生産を実現
- 販売方法やブランディングの工夫により高工賃を実現
企業を対象として栽培棚単位で契約販売を行い、製品のネーミングやパッケージを工夫することにより、高工賃を実現



3 今後の展開

販売力の強化及び高校生との連携を進める取り組み

新たな会場を開拓するとともに、高校生を交えた意見交換会や販売スキルを学ぶ勉強会を開催

事業所(組織)の運営の発想を広げる取り組み

庄内地域はもとより、地域外の新たな取り組み等を展開している事例を学ぶ研修会を開催

製品の認知度向上・福祉への理解促進・工賃向上

庄内地域における障がい者の就労を通じた社会参画を促進